

第49回 メディアとことば研究会

2017年9月15日(金)

15:00～18:00(14:30受付開始)

於 大阪大学大学院言語文化研究科

A棟2F大会議室(豊中キャンパス)

(<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka/toyonaka.html>)

参加費無料

「メディアとことば研究会」HP

<http://www.hituzi.co.jp/kenkyukai/media-kotoba.html>

※参加ご希望の方は、メディアとことば研究会事務局 medialalala**gmail.com (**は@)まで、お名前・ご所属をお知らせ下さい。

準備の都合上、9月14日(木)までにご連絡下さい。(当日の飛び入り参加も歓迎します。)

プログラム

14:30 - 15:00	研究会受付
15:00 - 15:05	研究会紹介
15:05 - 15:15	導入(秦)
15:15 - 15:45	発表1(佐藤) (発表25分、質問5分、以下同)
15:45 - 16:15	発表2(秦)
16:15 - 16:45	発表3(岡本)
16:45 - 17:00	休憩
17:00 - 17:10	出席者自己紹介
17:10 - 17:55	議論
17:55 - 18:00	研究会お知らせ

◎パネル発表 核をめぐる記録と記憶

—メディアにおけるHIROSHIMAとFUKUSHIMAのストーリー—

○発表者 佐藤彰・秦かおり・岡本能里子

発表1……佐藤彰(大阪大学)

原発事故を報道する米紙の和訳記事は「大本営発表」だったか

—ウォール・ストリート・ジャーナル日本版における原発事故関連報道の批判的談話分析—

発表2……秦かおり(大阪大学)

結び直される記憶

—メディアにおけるナラティブ性とHIROSHIMAの集合的記憶—

発表3……岡本能里子(東京国際大学)

オバマ広島訪問におけるメディア報道のマルチモード分析

—プラハ演説『核兵器なき世界』との比較を通じた「記憶」の再文脈化—

ひっじ書房 新刊



会話分析の基礎

高木智世・細田由利・森田笑 著 定価 3,500円+税

日常会話の詳細な分析から相互行為の秩序を明らかにする「会話分析」という研究分野が近年注目を浴びている。豊富な事例と課題を通して、その研究の視点や基礎を学ぶ入門書。

〒112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F

TEL: 03-5319-4916 FAX: 03-5319-4617 toiawase**hituzi.co.jp (**は@)

ひっじ書房

